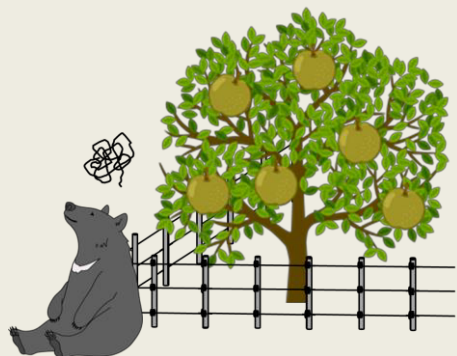




# 電気柵によるナシ園のクマ対策

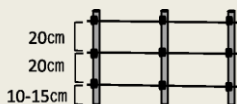


## 効果的な 対策のポイント



### 1段目は低く

クマは電気柵の下をくぐろうとするので1段目は地上高10~15cm程度が効果的です(2段目からは20cm程度)。複合柵の「シシ垣くん」は複数獣種に有効です。



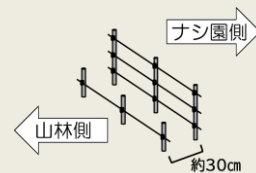
### 隙を見せない

電気柵は隙間なく、ナシ園全体を囲いましょう。漏電防止のために定期的な下草払いと電圧チェックが重要です。電気柵に触れずに園内に侵入できるような、柵周辺の木は伐採や枝落としをしましょう。

### 日中も電源ON

日中活動するクマもいるため、電源は切らずに通電しておきましょう。一度侵入して味を占めたクマは痛みに動じず侵入してしまいます。また電源入れ忘れを防ぐこともできます。

### 2重張りも効果的



穴掘り防止や、学習のために役立ちます。



## 運用のポイント



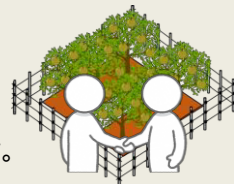
### 対策時期を絞る

収穫前から収穫終了までの期間のみ電気柵を張るだけでも、効果があります(20世紀梨であれば7~8月の約2か月間)。その場合は、電気柵は恐くないと学習させないように、通電しない期間は撤去しましょう。

### 農家間で協力

集落等で話し合い、協力して、隣接したナシ園全体を囲うようにしましょう。

維持管理の省力化にもつながります。



## クマと遭遇

## しないために

みなさんの安全が第一です!

### 音で知らせる

ナシ園内に入る前に、車のクラクションや鈴・ラジオ・笛の音で、人が来たことを知らせましょう。空の一斗缶などの甲高い音も効果的です。クマに逃げる余裕を与えることで遭遇の危険性が下がります。

### 隠れているかも

ナシ園内にクマが潜んでいないか十分に注意しましょう。またヤブなどに不用意に近づかないようにしましょう。クマがその場をやり過ごそうと、息を潜めているかもしれません。

### 有害捕獲時の注意事項

- 周辺に容易に利用できる果実(ナシ)があると、危険を冒してまで捕獲檻には入りません。電気柵でナシ園をしっかりと囲うなど、防除対策を万全にしましょう。
- ナシに執着させないためには、捕獲のための誘引エサには、ナシ以外の物を使うことをおすすめします(例:はちみつ)。

鳥取県 生活環境部 緑豊かな自然課  
発行:2021年3月  
※無断転載・複製を禁止します  
編集:(株)野生動物保護管理事務所